

Jakuchū, the Playful Painter — also featuring Kōrin, Ōkyo, Shōhaku, and others —  
Commemorating the 220th anniversary of the artist's death

生命を描く

# 画遊人・若冲

1716-1800

没後220年

— 光琳・応挙・蕭白とともに —



2020年  
10月4日

2021年  
3月28日

※休館日 12月31日(木)、1月1日(金)

岡田美術館  
OKADA MUSEUM OF ART

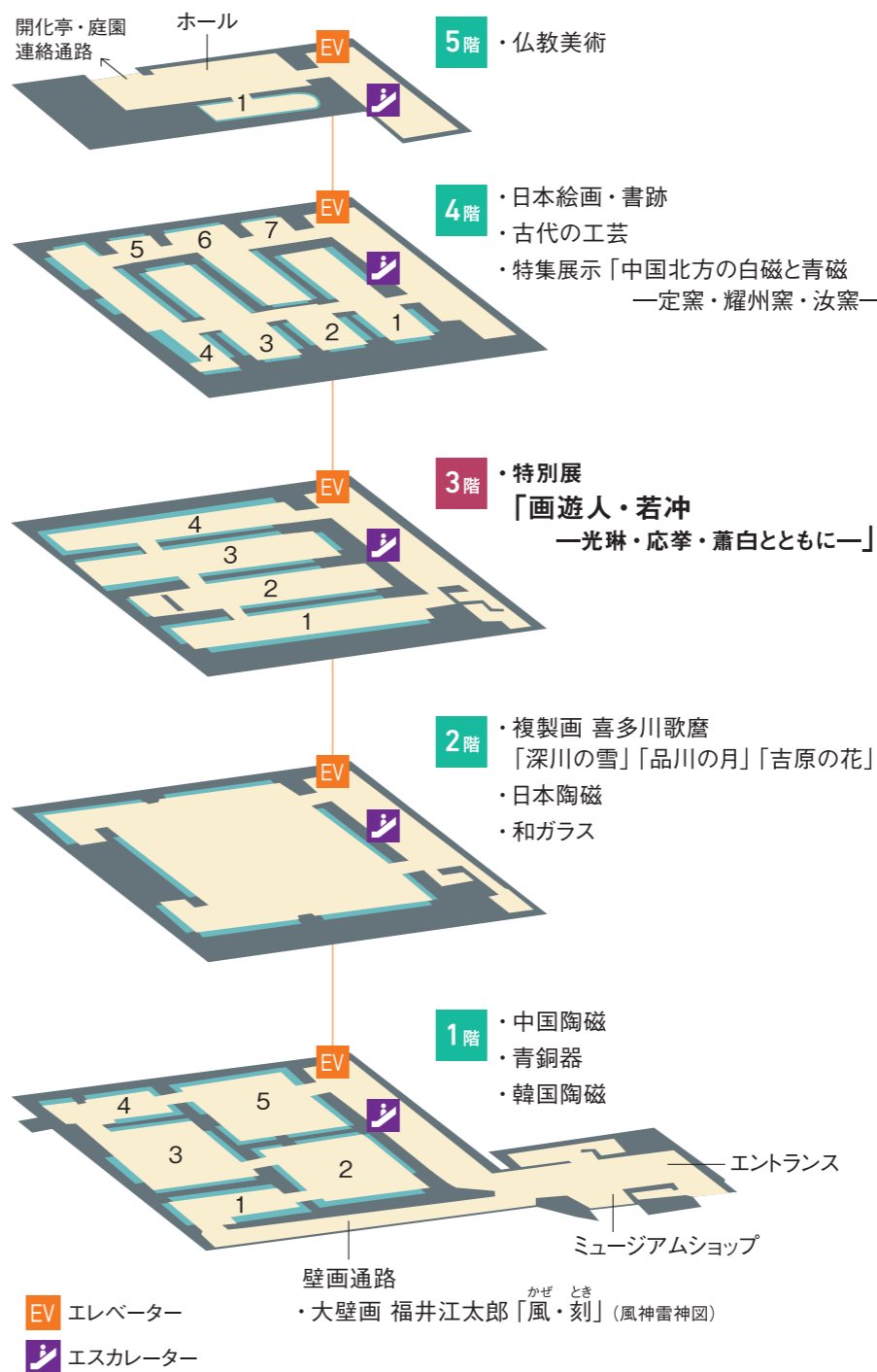
〒250-0406  
神奈川県足柄下郡箱根町小涌谷493-1  
TEL 0460-873931(代表)

バス停「小涌園」より徒歩すぐ

伊藤若冲「月に吠々鳥図」(部分) 18世紀後半

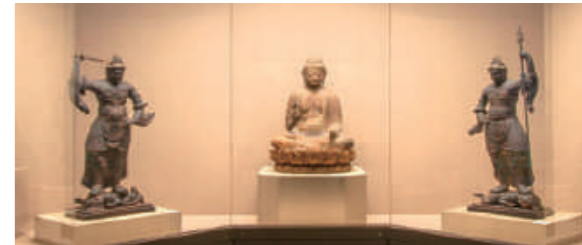
## 常設展示のご案内

岡田美術館は全5階、展示面積約5,000㎡の館内に、常時約450点の美術品を展示しています。



### 5階展示室

重要文化財「木造薬師如来坐像」をはじめ、仏像や仏画、密教法具など祈りの世界をご覧いただけます。



中央「木造薬師如来坐像」平安時代 11世紀 重要文化財  
左右「木造二天王立像」平安時代 10～11世紀

### 4階展示室

日本の絵画・書跡と土偶・土器・埴輪など古代の工芸品を展示し、併せて特集展示「中国北方の白磁と青磁 —一定窯・耀州窯・汝窯—」を開催します(初公開5点を含む12点)。



俵屋宗達下絵・本阿弥光悦書  
萩下絵和歌色紙「ゆめ通ふ」  
桃山時代末期～江戸時代初期  
17世紀初頭



「青磁刻花牡丹文鉢」耀州窯  
中国・北宋時代 11～12世紀

### 1階展示室

中国の陶磁器と青銅器、韓国の陶磁器を展示。古代から清朝までの歴代の中国陶磁が質・量ともに充実しています。



「白地黒掻落牡丹唐草文壺」磁州窯  
中国・北宋時代 11～12世紀

### 2階展示室

古九谷、鍋島といった肥前磁器や野々村仁清、尾形乾山の京焼など日本のやきものや和ガラスをご覧いただけます。



「色絵雪持菊文皿」(5枚のうち)  
鍋島藩窯 江戸時代 17世紀後半

次回展予告 東西の日本画 —大観・春草・松園など— (仮) 2021年4月4日(日)～9月26日(日) ※会期は変更になる場合がございます。

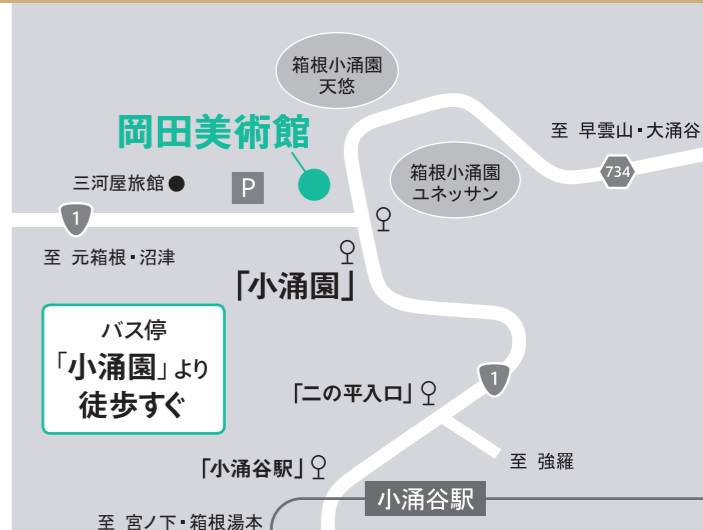
### アクセス

〈電車・バスをご利用の場合〉

<b>新宿駅</b> から	小田急線(特急ロマンスカー)■約90分→箱根湯本駅 ①伊豆箱根バス(のりば①)・箱根登山バス(のりば②)■約20分→小涌園 ②箱根登山鉄道■約35分→小涌谷駅 伊豆箱根バス・箱根登山バス■約2分→小涌園
<b>東京駅</b> から	東海道新幹線「こだま」■約35分→小田原駅 伊豆箱根バス(のりば⑤)・箱根登山バス(のりば③)■約40分→小涌園
<b>強羅駅</b> から	施設めぐりバス■約5分→小涌園

〈お車をご利用の場合〉※所要時間は、交通状況によって大きく異なります。

東名厚木IC ▶ 小田原厚木道路 ▶ 箱根IC ▶ 国道1号線 ▶ 岡田美術館【約60分】  
東名御殿場IC ▶ 国道138号線 ▶ 宮ノ下 ▶ 国道1号線 ▶ 岡田美術館【約40分】





1

# 画遊人 若冲

江戸時代半ばの京都で活躍した絵師・伊藤若冲(1716-1800)は、裕福な商家の長男として生まれながら、名利に関心がなく、学問・諸芸・娯楽を好まず、ただ絵を描くことを楽しみとして心力を尽くしました。まさに「画遊人」として、当時には稀な85歳の長寿を全うしたのです。その没後220年を記念し、岡田美術館に収蔵される若冲の作品全7件を一堂に展示します。

家業の青物問屋を営むかたわら絵を学んでいた30代後半の「花卉雄鶏図」、隠居して画業に専念した40歳頃の「孔雀鳳凰図」、40代後半の「梅花小禽図」「雪中雄鶏図」「笠に鶏図」「月に吠々鳥図」、81歳の年紀がある「三十六歌仙図屏風」という、初期から晩年までの着色画4件・水墨画3件がそろって展示されるのは4年ぶりとなります。若冲が学んだ狩野派や尾形光琳、光琳の弟・尾形乾山、同時代の京都画壇の覇者・円山応挙、鬼才ぶりが注目される曾我蕭白らの作品と併せ、江戸時代の多彩な絵画をお楽しみください。



2 4年前、83年ぶりに再発見された大作2幅



3 単純・奇抜な構図に墨色と筆致が冴える



- 1 伊藤若冲「花卉雄鶏図」18世紀中頃
- 2 伊藤若冲「孔雀鳳凰図」宝暦5年(1755)頃 重要美術品
- 3 伊藤若冲「月に吠々鳥図」18世紀後半
- 4 伊藤若冲「雪中雄鶏図」18世紀後半
- 5 伊藤若冲「三十六歌仙図屏風」寛政8年(1796)

4 雪中の雄鶏が振り向いた緊張の瞬間



「伊藤若冲さん」  
入館料特別割引  
キャンペーン

伊藤さん▶1000円引!  
若冲さん▶半額!!  
伊藤若冲さん▶無料!!!

※本展会期中のみの実施となります。  
※現在の本名の漢字が一致する方で、ご本人様に限らせていただきます。  
※受付にてご本人様の姓名のわかるもの(免許証・保険証等)をご提示ください。  
※他の割引との併用はできません。

Jakuchū, the Playful Painter — also featuring Kōrin, Ōkyo, Shōhaku, and others — Commemorating the 220th anniversary of the artist's death



尾形光琳「菊図屏風」のうち(左隻)18世紀初頭



円山応挙「三美人図」のうち(太夫図)天明3年(1783) 重要美術品



尾形乾山「夕顔・楓図」のうち(楓図)元文5年(1740)頃



曾我蕭白「飲中八仙図屏風」のうち(左隻)18世紀後半

会期中のイベント [会場] 5階ホール [定員] 80名 参加無料(要入館料)

- 講演会**  
講師:小林 忠(岡田美術館 館長)  
「伊藤若冲の生涯と画業」  
2020年11月28日(土)午後1時~2時30分  
「伊藤若冲と京都画壇」  
2021年3月13日(土)午後1時~2時30分  
▶申込方法  
電話にてお名前・人数・ご連絡先をお知らせください。定員に達し次第、応募を締め切らせていただきます。  
[電話番号] 0460-87-3931
- 関連講座** ※申込不要  
講師:小林 優子(岡田美術館 主任学芸員)  
「着色画と水墨画—若冲の絵の魅力—」  
2020年11月7日(土)午後1時~2時30分  
特集展示スライドトーク ※申込不要  
講師:佐藤 有沙(岡田美術館 学芸員)  
「中国北方の白磁と青磁—一定窯・耀州窯・汝窯—」  
2021年3月20日(土・祝)午後1時~2時

ギャラリートーク 申込不要・参加無料(要入館料)

- ◆館長によるギャラリートーク  
2020年  
10月8日・29日、11月5日・19日、12月3日・17日  
2021年  
1月7日・21日、2月4日・18日、3月4日・18日  
※いずれも木曜日 午後1時30分~
- ◆学芸員によるギャラリートーク  
2020年10月9日~2021年3月19日の  
毎週金曜日 午前11時~  
(1月1日(金)を除く)



5

光琳の歌仙図のパロディとする説があります